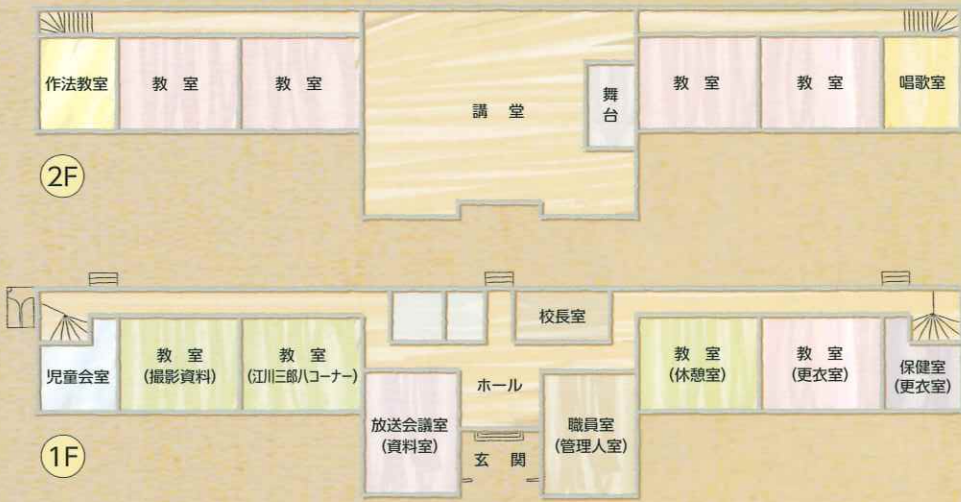




国指定重要文化財
平成11年5月13日指定

館内平面図



(公財)真庭エスパス文化振興財団

〒719-3214 岡山県真庭市鍋屋17-1
TEL.0867-42-7000(代)・FAX.0867-42-7202
HP <http://kuse-espace.jp>

□開館時間／午前9時～午後6時
□休館日／●毎週水曜日(水曜日が祝日の場合はその翌日)
●年末年始



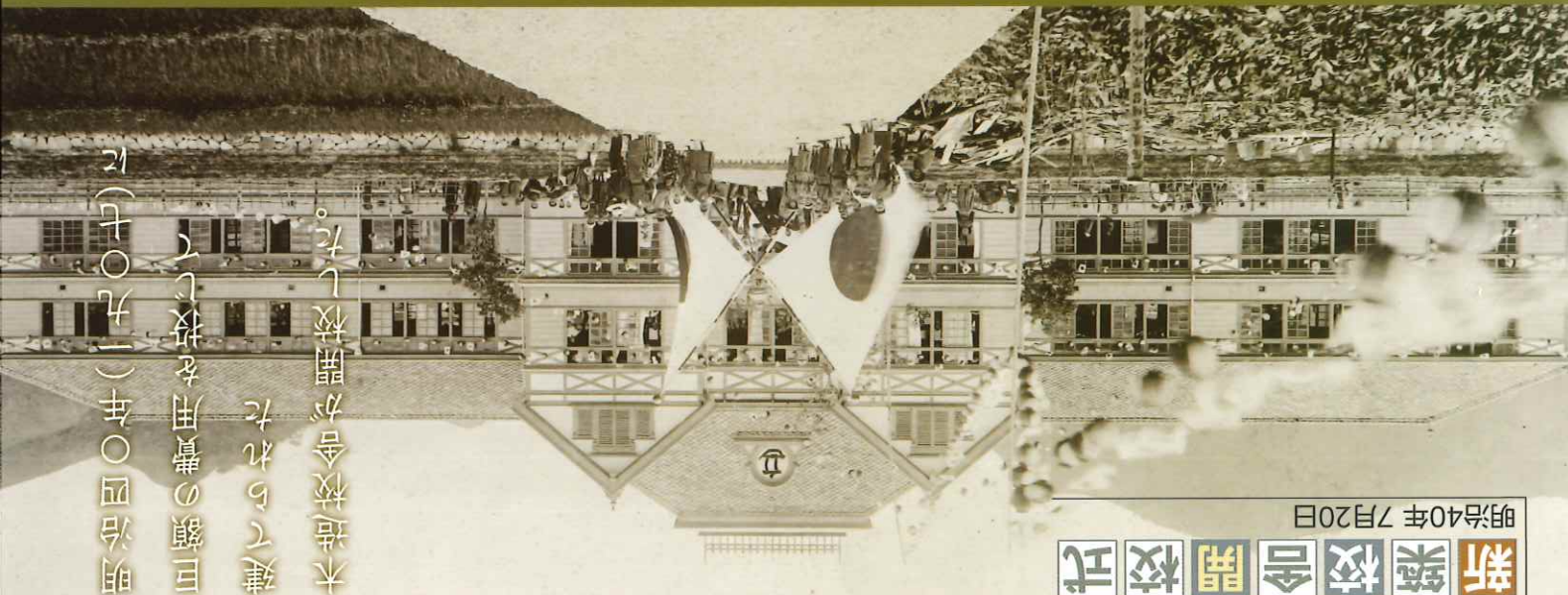
旧遷喬HP

ACCESS MAP



- お車で→米子自動車道[久世I.Cから]西へ4km、中国自動車道[落合I.Cから]北へ7km
- 汽車で→JR姫新線[久世駅から]東へ800m

旧遷喬尋常小学校



新築校舎開校式
明治40年7月20日

木造校舎が開校した。
建てられた
巨額の費用を投じて
明治四〇年(一九〇七)に

歴史 History

「幽谷より出でて、喬木に遷る」

明治3年(1870)、地域の有志が発起して大旦高下(真庭市台金屋)に明親館という学校をつくった。命名は備中聖人の山田方谷で、生徒の指導には方谷の門人があたり、生徒数は46人であった。

そして、明治7年(1874)、久世村(同市久世)の津山藩の御蔵(年貢米倉庫)を校舎として、遷喬小学校は開校した。校名は、中国の古典、詩経の一節「出自幽谷、遷于喬木」から2文字をとって「遷喬」と名付けた。ウグイスが深山の暗い谷間から飛び立ち、高い木に移ることに例えて、学問に励み立身出世するという意味である。



山田方谷扁額「出自幽谷 遷于喬木」

山田方谷像
(高梁方谷会所蔵)



『詩経』の一節

正面に掲げられた校章。設計者の江川三郎八が、「久世」の文字を高橋邦でデザイン。

建築 Architecture

「明治人の熱い思いを伝える 洋風の学校建築」

増加する生徒数に対応するため、校舎の移転が計画された。新校地を鍋屋(真庭市鍋屋)の地に求め、明治38年(1905)に着工、2年後の明治40年(1907)7月、ついに新校舎は完成した。これが今に残る小学校本館である。設計は県の工手で、県下で多くの公共建築を手がけた江川三郎八に依頼した。そして建築材は木山国有林(同市木山)の優れた木材を使用している。

校舎外観は、完全なシンメトリー(左右対称)のデザインである。中央玄関部に厚みをもたせ、左右を少し張り出して破風で飾り、壁面には飾り窓、その上に大きなマンサード屋根(二重勾配)が乗っている。二階中央の講堂は、折り上げの格天井となっており、その風格は訪れる者を圧倒する。校内のガラスの一部は、角度によって景色が変わる貴重な手造りガラスである。



格天井の講堂

現在 Current

「国指定重要文化財」

平成2年(1990)の夏に小学校の役目を終えた校舎は、平成11年(1999)に国指定重要文化財となった。現在は一般開放しており、観光客や市民が自由に見学できる。校舎内には、映画「ALWAYS 三丁目の夕日」やNHK連続テレビ小説などTVドラマの撮影が行われた際の台本や写真、校舎模型をはじめ、江川三郎八が設計を手掛けた建物の模型を展示。校庭は土広場として再整備し、野外イベントの会場としても利用されている。



幅広く分厚いマツ材を使用している廊下

御影石を並べ、赤煉瓦を7段積んだ基礎